

● 稲賀繁美

国際日本文化研究センター教授／文化交渉史

① 内田義彦『形の発見』

② フランク『日本仏教曼荼羅』

③ 〈コレクション鶴見和子曼荼羅〉

全九巻

食道癌を病んだ内田義彦は、晩年、集中治療室から生還して

Lebenswesen という言葉の意味を

ようやく肉体的に納得したという。生命を極限にまで切り詰めて残る本質から、基礎概念が問い直される。①に集約された珠玉の断章を掌に巡らせると、硬くなりがちな頭脳が解きほぐされ、思索が若やぐ。学問はとかく動脈硬化を招きがちだが、厳密な実証文献学が仏教の智恵を開示する希なる僥倖へと導くのがベルナール・フランクの知性だった。②は淳子夫人の手による遺稿の翻訳。ラッパーを飾る勢至菩薩像は、著者が法隆寺からの流出品と突き止めた逸品。その晩年、東洋思想の可能性に開眼した社会学者・鶴見和子は、南方熊楠を導きに曼荼羅の世界へと接

近した。③はその業績の集成。予告された英文論文集はなお未刊だが、日本発信の思索を世界の検証へと提供することも、二一世紀の藤原書店の人類史的な責務の一班をなすはずだ。

心に残る藤原書店の本

創業20周年記念アンケート

2010年3月22日発行 ◎非売品

編集兼発行人 藤原良雄

発行所 株式会社 藤原書店

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町523

電話 03-5272-0301(代表)

FAX 03-5272-0450

URL <http://www.fujiwara-shoten.co.jp/>

振替 00160-4-17013

印刷・製本 中央精版印刷

©2010 FUJIWARA-SHOTEN / Printed in Japan